

製品の安全な使い方

平成23年9月

簡易ガスライター
ガスこんろのグリル
IHこんろ
金属製ゆたんぽ
電気ストーブ
石油ストーブ

ガスライターの事故

【事例】 たばこに点火後、ライターをシャツの胸ポケットに入れていたら、火が出て腕や指にやけどを負った。

【事故原因】

ライターの残火がシャツに燃え移ったものです。

残火：着火レバーから指を離しても火がついている状態



- 着火レバーとノズルネジの間にゴミなどの異物が挟まると残火の原因となるので、取り除いてください。ふたのないタイプは特に付着しやすいので注意してください。
- ライターは安全基準に適合したものをご使用ください。

再現実験:ライターに残火から発火

ポケットに入れた
残火ライターから
発火

ガスライターでの事故防止

ガスライターによる火遊びが原因とみられる火災で、幼い子どもが犠牲になる事故が多発。



ガスライターの安全基準強化へ(平成22年12月施行)

- ・消費生活用製品安全法の「特定製品」等に指定し、製造や販売を規制する。
- ・チャイルドレジスタンス(CR)～子どもが製品を簡単に操作できないようにする仕組みを付ける。(着火レバーを重くする、同時に2つ以上の操作が必要)
- ・経過措置が終了する平成23年9月27日以降、技術基準を満たさないもの販売禁止。

幼い子どものいる家庭での注意事項

- 子どもの手の届くところにライターを置かない。
- 子どもにライターを触らせない。
- 子どもがライターで火遊びをしているのを見かけたら、すぐに注意してやめさせる。



ガスこんろのグリルから出火

【事例】使用中のガスこんろのグリルの奥から発煙して出火し、住宅が全焼した。(身守りハンドブック2011 7ページ)

【事故原因】

ガスこんろのグリルで魚を調理したまま放置していました。そのため、受け皿にたまっていた魚の油脂等が過熱されて発火し、火災に至ったものです。



- グリル内は、魚の脂などの汚れが付着しないように日頃から手入れをしましょう。
- ガスこんろ付近には段ボール、新聞紙、ビニールシートなどの可燃物や可燃性のスプレー、カセットこんろなどを置かないようにしてください。

再現実験:ガスこんろグリルからの発火再現実験

汚れたグリル、水少なめで再現

汚れたグリルによる
火災再現実験

受け皿汚れ、水少なめ、消
し忘れ



IHこんろ(電磁調理器)による天ぷら油火災

【事例1】IHクッキングヒーターで汎用のなべを用いて天ぷら調理をしたところ発火した。

【事例2】IH調理器付近から出火して、レンジフードの一部を焼損し、消火時に家人が顔面などにやけどを負った。

【事故原因】

【事例1】揚げ物キーを使っていたが、IH専用の調理なべを使用しなかったことから、油が過熱され発火したものです。

【事例2】調理の際にその場を離れ、油量も少なく、付属の揚げ物調理用なべを使用せず、更に揚げ物専用コースを使わず手動で加熱したため、油が発火したものです。

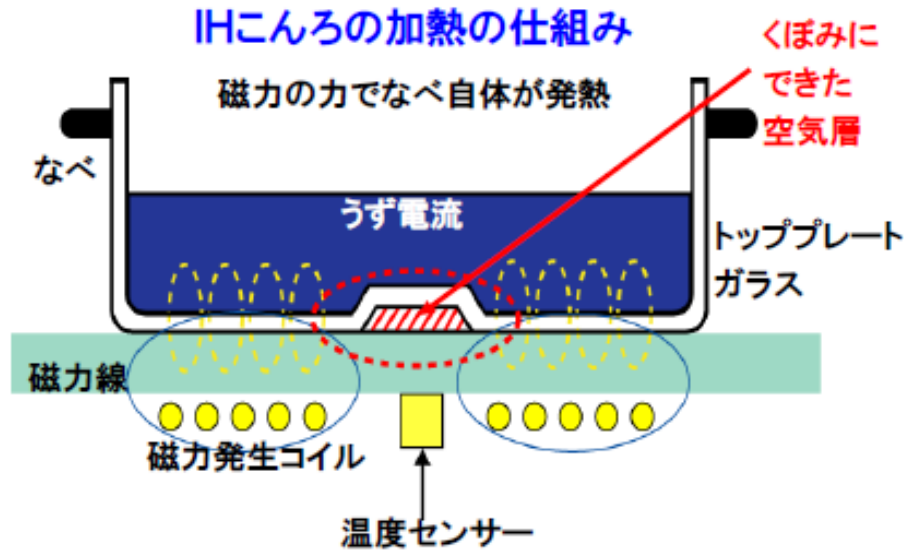


再現実験：IHこんろ天ぷら油火災



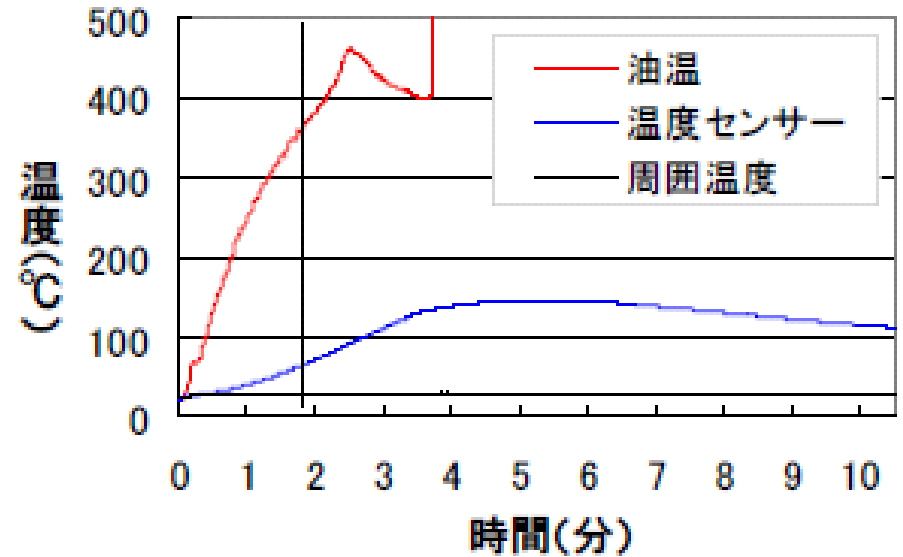
少量の油で、底にくぼみがあるなべを使用→発火

IHこんろの原理とセンサーの温度特性



なべ底にくぼみがあると、
空気層ができて温度セン
サーが正しく働きません。

少ない油量(100グラム)の温度測定結果



油の温度と温度センサ
ーが検知する温度に差が生
じています。

IHこんろによる天ぷら油火災の注意ポイント



IHこんろで揚げ物調理をする際は取扱説明書を良く読んで、以下のことに注意して正しく使用してください。

- 揚げ物調理中はその場を離れないでください。
- 調理中、その場を離れるときはスイッチを必ず切ってください。
- なべ底に反りなどがあると温度センサーが正確に働かないので、付属の揚げ物調理用なべを使い、付属のなべがないときは、底が平らなIH専用なべを使ってください。
- 揚げ物調理時の油量は、取扱説明書に従ってください。油量が少ないと温度が急激に上がるため、温度センサーが正確な温度を測定できません。

金属製ゆたんぽの事故

【事例】金属製ゆたんぽの口金をゆるめて、電磁調理器で加熱していたら、大きな音とともにゆたんぽが破裂し、電磁調理器や蛍光灯が壊れた。(身守りハンドブック2011 14ページ)

【事故原因】

口金を外さずにゆたんぽを加熱したため、内圧の上昇に耐えられなくなったゆたんぽが破裂して、周囲の電磁調理器や蛍光灯などを破損したものです。



- 電磁調理器やガスこんろで直接加熱するタイプの金属製ゆたんぽを加熱する際は、必ず口金(キャップ)を外してください。

再現実験：金属製ゆたんぽを口金を締めて加熱



電気ストーブの事故(1)

【事例1】住宅から出火して全焼し、1人が死亡した。

(身守りハンドブック2011 21ページ)

【事故原因】

電気ストーブの上に干していた洗濯物が落下して、ヒーターに接触し着火したものです。

- ストーブの上部や周辺で洗濯物を乾かさなないでください。
- 洗濯ばさみで留めたつもりでも、乾燥して軽くなった洗濯物が上昇気流に煽られストーブの上に落下する危険性があります。



再現実験：洗濯物が落下して火災



洗濯物が落下後、約7分で白煙→約10分で着火

電気ストーブの事故(2)

【事例2】電気ストーブがある居間付近から出火して全焼し、1人が死亡した。(身守りハンドブック2011 21ページ)

【事故原因】

電気ストーブをつけたまま寝たため、布団がヒーターに接触し着火したものです。



- 寝る時は、必ず電源スイッチを切りましょう。
- 就寝中、寝返りをうった時に布団が接触して火災になった事例があります。

再現実験：就寝中、ふとんに電気ストーブが接触



接触後、約2分で白煙→約16分30秒で着火

石油ストーブの事故

【事例】住宅から出火して全焼し、ほか4棟も焼けた。

(身守りハンドブック2011 21ページ)

【事故原因】

石油ストーブに給油をする際、消火せず、さらにカートリッジタンクのふた(ネジ式)の締め方が不十分だったため、灯油がこぼれてストーブの火が引火したものです。



- 給油は必ずストーブの火を消してから行ってください。
- 給油タンクのふたが確実に締まったかどうか確認してください。給油時消火装置付でも注意して給油をしてください。

再現実験：消火しないで、カーリッジタンクに給油



火が付いたまま給油し、ふたの締め具合が不十分

着衣着火の事故

【事例】やかんで湯を沸かしていたところ、ガスコンロの火が衣服に燃え移って死亡した。
(身守りハンドブック2011 7ページ)

【事故原因】

ガスコンロの火に近づき過ぎたため、火が衣服についたものです。



- ガスコンロのように火を扱う製品では、火に近づき過ぎないでください。特に火の上には絶対身体をかざさないでください。火が見えていなくてもバーナーの上は高温であり着火しやすくなっています。ガスコンロの奥に手を伸ばすときは、必ずバーナーの火を消してください。

再現実験:こんろの火が衣服に燃え移る



袖に着火後、11秒で肩まで燃え広がった。

くらしに潜む危険

- ◆ガス湯沸器(給湯器)で一酸化炭素中毒)
- ◆電気こんろに体が触れてスイッチがON
- ◆電子レンジで加熱中の食品が発火
- ◆電動アシスト自転車、ケンケン乗りで急発進
- ◆電気スタンドが転倒して出火

などの誤使用や不注意により事故が発生しています。

これらの事故から身を守るには・・・

「身・守りハンドブック2011」は、これまで実際に発生した誤使用や不注意の事故事例を取り上げ、製品と安全につきあうための心構えをまとめたものです。

ダウンロードも出来ます。下記のホームページで
http://www.nite.go.jp/jiko/handbook/goshiyou_handbook.html



安心を未来につなぐナイトです。

nite National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

検索

サイトマップ
文字を大きくするには

▶ English

生活安全分野 [Go](#)

適合性認定分野 [Go](#)

化学物質管理分野 [Go](#)

バイオテクノロジー分野 [Go](#)

信頼できる技術と情報をもとに、
「くらしの安全・安心」に貢献します。

注目情報

- 製品安全・事故情報
- 注意喚起リーフレット

[社告・リコール](#)

10.10.28 更新

[ポスター・動画](#)

[最新事故情報](#)

10.10.20~10.10.26

[事故の調査結果\(検索\)](#)

お知らせ

- 2010年11月4日 [「第5回製品安全総点検セミナー\(＠東京\)」開催のお知らせ](#)
- 2010年11月4日 [製品安全総点検週間における経済産業省の取組について](#)
- 2010年11月1日 [採用情報を更新しました](#)
- 2010年11月1日 [「生活安全ジャーナル」第10号のダウンロードを開始しました。](#)
- 2010年10月29日 [プレスリリース「石油ふろがま、石油給湯機及びみき兼用機器の事故の防止について\(注意喚起\)」について](#)
- 2010年10月28日 [「事故情報収集制度における事故情報の調査結果について\(H22年度第2四半期調査終了分\)」の追加掲載および事故情報データの追加・更新を行いました。](#)
- 2010年10月28日 [プレスリリース「生物多様性条約の原則に則った海外微生物探索の実施」について](#)
- 2010年10月19日 [「平成22年度製品安全センター 製品安全業務報告会」開催のお知らせ](#)
- 2010年10月18日 [PRTRマップのうち、H20年度PRTRデータを用いた発生源マップ・濃度マップを更新しました。](#)
- 2010年10月6日 [「事故情報収集制度における事故情報の調査結果について\(H22年度第2四半期調査終了分\)」の掲載および事故情報データの追加・更新を行いました。](#)
- 2010年9月28日 [経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故でNITEが受け付けたもののうち、経済産業省及び消費者庁による調査が終了した案件\(平成22年9月\)の公表について](#)
- 2010年9月21日 [中国檢驗檢疫科学研究院\(CAIQ\)との第2回会合及び第4回日中製品安全分野定期協議の開催について](#)

本日は2010年11月4日(木)です



催し物(支所)

NITEの概要

[調達](#)

[公募](#)

[採用](#)

NITEの情報公開

広報誌/メルマガ



生活 nite 安全
ジャーナル

製品安全情報マガジン
~配信登録はこちらから~

NITEホームページ(製品安全分野)

http://www.jiko.nite.go.jp/

nite

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

検索 | サイトマップ | リンク集 | English |

製品安全分野

NITEトップ > 製品安全・事故情報

～暮らしの安心を支援する、安全・快適さに関する情報の発信～

【注意喚起】災害復旧時の製品事故の防止について

社告・リコール | 特記ニュース | 最新事故情報 | 事故の調査結果(検索)

製品安全・事故情報

消費者のみなさまへ

◆◆◆◆◆

[注意喚起リーフレット](#) >>

[注意喚起ちらし](#) >>

[注意喚起リンク集](#) >>

[ミニポスター\(一部動画付\)](#) >>

[身・守りハンドブック](#) >>

[教育DVDハンドブック](#) >>

[生活安全ジャーナル](#) >>

[製品安全情報マガジン\(PSマガジン\)](#) >>

◆◆◆◆◆

[What's New](#) >>

[プレスリリース](#) >>

[特記ニュース](#) >>

[最新事故情報](#) >>

[事故情報の検索](#) >>

[社告・リコール情報](#) >>

[社告・リコールの検索](#) >>

[報告書](#) >>

[リンク集](#) >>

[立入検査](#) >>

[事故情報収集制度について\(制度の体系図\)](#) >>

製品事故情報の収集への協力をお願いします

製品安全・事故情報

消費生活用製品(家庭用電気製品、燃焼器具、乗物、レジャー用品、乳幼児用品等)の欠陥等により人的被害が生じた事故、人的被害が発生する可能性の高い物的事故、及び製品の欠陥により生じた可能性のある事故に関する情報を提供しています。



注意喚起リーフレット

季節別に発生する事故事例と事故防止のポイントをわかりやすく説明したリーフレットです。



注意喚起ちらし

事故防止のポイントやリコール社告を中心に更にわかりやすく説明したちらしです。



ミニポスター
(一部動画つき)

NITEで収集した事故情報を基に作成したミニポスター(及び再現実験映像[swf])です。「注意喚起リーフレット」等と一緒にご利用ください。



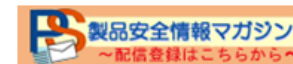
身・守りハンドブック
(誤使用防止ハンドブック)

誤使用事故を防止する目的で、消費者用、事業者用の2つのハンドブックを作成しました。



生活安全
ジャーナル

製品安全の情報について総合的に提供するNITE製品安全広報誌です。



製品安全情報マガジン
～配信登録はこちらから～

製品安全に関する情報をタイムリーに提供しています。

標準化の推進

製品事故の未然・再発防止の観点で、消費者用製品の安全に関わる標準化業務を実施しています。

- 高齢者、乳幼児事故未然防止・再発防止のための標準化
- 技術基準体系等の見直し(電気用品安全法)
- 国際標準化
- 製品安全に関するデータ提供

●製品安全・事故情報に関するお問合せ先
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 製品安全調査課
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館別館
Tel 06-6942-1113 Fax 06-6946-7280

E-mail jiko@nite.go.jp

※フリーメールは受信できません。電話又はFAXをご利用ください。

電気工事士講習/ガス工事監督者講習

約50万人の第1種電気工事士と約4万人のガス消費機器設置工事監督者に対し、工事の欠陥による災害の発生を防止できるよう、技術上の情報等を提供するための法定講習を実施しています。

事故情報の検索

事故情報の検索 | 独立行政法人製品評価技術基盤機構 - Windows Internet Explorer

http://www.jiko.nite.go.jp/php/jiko/search/index.php

事故情報の検索 | 独立行政法人製品評価技術...

nite 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

製品安全分野
～暮らしの安心を支援する、安全・快適さに関する情報の発信～

HOME > 製品安全・事故情報 > 事故情報の検索トップ > 事故情報の検索

事故情報の検索

事故情報データベース検索の手引き

- 平成8年度(1996年度)から収集したデータが保存されています。
- キーワード、検索項目、選択肢等の検索条件により絞り込み検索が可能です。

	キーワード		検索項目		選択肢
● キーワード条件	1	を	指定なし	に	含む
	2	を	指定なし	に	含む
	3	を	指定なし	に	含む

● 条件
1・2・3全てを満たしているもの

● 全角/半角
 区別しない 区別する

検索する クリアする

Copyright 2002 - 2011 (C) National Institute of Technology and Evaluation All rights reserved

検索画面

事故情報の検索

NITEが平成8年度から収集した事故情報が検索できます。(収録件数3万3千件以上)

キーワード

1 [] を

2 [] を

3 [] を

キーワードに調べたい製品名を入力し 検索ボタンを押すと検索できます。

最新の社告・リコール

<http://www.nite.go.jp/jiko/index4.html>

[NITEトップ](#) > [製品安全分野](#) > [製品安全・事故情報](#)

製品安全分野

製品に関する事故情報や高齢者・障害者に配慮した国際・国内規格・技術データなどの情報を提供しています。

製品安全・事故情報

消費者のみなさまへ

[注意喚起リーフレット](#) >>

[注意喚起ちらし](#) >>

[注意喚起リンク集](#) >>

[ミニポスター\(一部動画付\)](#) >>

[身・守りハンドブック](#) >>

[教育DVDハンドブック](#) >>

[生活安全ジャーナル](#) >>

[製品安全情報マガジン\(PSマガジン\)](#) >>

[What's New](#) >>

[プレスリリース](#) >>

[特記ニュース](#) >>

[最新事故情報](#) >>

[事故情報の検索](#) >>

[社告・リコール情報](#) >>

[社告・リコールの検索](#) >>

最近の社告・リコール

事業者等が行った社告・リコール情報をNITEが同一のフォームに編集しています。

○NITE要約版

<平成23年8月1日>

[平成23年8月1日](#) [\(販売元\)日本エー・アイ・シー株式会社](#) [\(製造元\)株式会社 千石「石油ファンヒーター」\(HP\)](#)
発煙・床面を焦がすおそれ 当製品において、運転ボタンの押し込み不足があると、本体内部が過熱し、発煙や床面を焦がすおそれがあることが判明。
(2011年2月4日にホームページ上で行った社告の再社告)(無償点検・修理)

[平成23年8月1日](#) [株式会社テコット「充電式扇風機」\(HP\)](#)
当製品において、使用部品の強度不足により本体ボール部分が折れ、転倒の可能性があることが判明。(回収(返金))

[平成23年7月27日](#) [株式会社LIXIL\(旧新日軽株式会社\)「住宅用サッシ上げ下げ窓用網戸」\(新聞\)](#)
当製品において、部品破損により落下するおそれがあることが判明。(点検(交換))

[平成23年7月25日](#) [株式会社ニッセン「サンダル\(婦人用\)」\(HP\)](#)
当製品において、ヒールの強度不足によりヒールが折れ、転倒するおそれがあることが判明。(回収(返金))

[平成23年7月19日](#) [株式会社山善「座椅子」\(HP\)](#)
当製品において、背部のギアが破損し、使用中に背もたれが倒れる事故が発生。(回収(代金返金))

[平成23年7月15日](#) [株式会社ジュン「サンダル\(婦人用\)」\(HP\)](#)
当製品において、ストラップの内側より形状保持用のワイヤーが飛び出す可能性があることが判明。(回収(返金))

[平成23年7月14日](#) [株式会社ニコン「デジタルカメラ」\(HP\)](#)
当製品において、回路設計上の不具合により過電流が流れ、発熱するおそれがあることが判明。※対象製品を使用されている方は、電池、あるいはACアダプターを取り外してください。(回収(無償修理))

[平成23年7月13日](#) [ロイヤルホームセンター株式会社\(販売\)](#) [パール金属株式会社\(製造\)「笛吹きケトル」\(HP\)](#)
当製品において、笛吹き部分の全目が外れやすいため製品があることが判明。(交換(代金返金))

製品安全情報マガジン(PSマガジン)

事故の未然・再発防止のため、気を付けて欲しい事故情報・リコール情報を月2回(第2・4火曜日)に電子メールで発信していますので、ぜひPSマガジンにご登録ください。

配信ご希望の方は、ホームページにて
電子メールアドレスをご登録ください。

登録 <http://www.nite.go.jp/jiko/psm/>

製品安全情報マガジン (PSマガジン)

製品評価技術基盤機構(NITE)では、NITEに集約される製品安全に関する情報を製品事故の未然・再発防止の観点から、製品安全情報マガジン(PSマガジン)によってタイムリーに提供しています。毎月第2・4火曜日に配信しています。



新規登録

新規に配信を希望される方はこちらから登録を行ってください。

登録変更・解除

パスワード
再発行

登録内容の確認・変更、メール配信の停止 パスワードを忘れた方は、こちらから再発を希望される方はこちらからお願います。※ 行を行ってください。

※パスワードの入力が必要です。

バックナンバー

[2010](#) [2009](#) [2008](#) [2007](#) [2006](#) [2005](#)

2011年

- Vol.151 8月 9日号「冷蔵庫による事故」
- Vol.150 7月26日号「カセットこんろによる事故」
- Vol.149 7月12日号「除湿器による事故」
- Vol.139 2月 8日号「除雪機による事故」
- Vol.138 1月25日号「電気カーペットによる事故」
- Vol.137 1月11日号「ガス給湯器による事故」

2011年 特別号

- 特別号 7月21日号「『製品安全対策の基礎知識』東京会場のご案内」
- 特別号 9月16日号「災害時の製品事故の防止について」

配信サンプル



製品安全情報マガジン(PSマガジン)は製品安全に関する情報を
お届けします。(第2・4火曜日発行)
〈等幅フォントでご覧ください〉

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE・ナイト)
製品安全センター 製品安全調査課
<http://www.jiko.nite.go.jp/>

2011. 5. 10 Vol.145
今回は、子どもに関する事故をご紹介します。NITEからのお知らせでは、ちらし「リコールなど注意を呼びかけています」の追加を掲載しております。

目次

- 製品事故収集情報
 - 子どもに関する製品事故
 - 消費生活用製品の事故情報収集状況(4月20日～4月26日受付35件)
- 社告・リコール情報(1件)
- NITEからのお知らせ
 - 「注意喚起ちらし」の追加について
 - 災害復旧時の製品事故の防止について(注意喚起)
- 関係機関の製品安全情報
 - 製品安全ガイド 楽しくまなぶ! 製品安全のきほん 経済産業省
 - リコール情報ポータルサイト
 - 消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について 消費者庁
 - R-Map実践研究会 研究員募集 財団法人日本科学技術連盟
- 編集後記

1. 製品事故収集情報

◆◆◇ 子どもに関する事故 ◇◆◆

◇今回は、ご注意していただきたい子どもに関する事故事例をご紹介します。

(事例1)電子レンジを使用する際、扉を開いたままにしていたところ、幼児が扉をつかんだため、電子レンジが落下しけがをしました。

→ 開いた状態の電子レンジの縦開き扉が、幼児の手の届く高さであったために、扉をつかみが電子レンジが落下したものと推定されます。

(事例2)加湿器をカウンター上に置いて使用中、幼児が電源コードに引っかかったために加湿器が落下し、やけどを負いました。

→ 電源コードが床にたるんだ状態になっていたため、幼児が電源コードを引っかけ、加湿器が落下し、湯がかかったものと推定されます。

注意喚起ちらし

実際に起こった事故事例やリコール情報を掲載したチラシを無償でダウンロードできます。(白黒印刷にも対応しています)
<http://www.nite.go.jp/jiko/chirashi/chirashi.html>

製品安全分野

製品に関する事故情報や高齢者・障害者に配慮した国際・国内規格・技術データなどの情報を提供しています。

NITEトップ > 製品安全分野 > 製品安全・事故情報

製品安全・事故情報

注意喚起ちらし

消費者のみなさまへ

- 注意喚起リーフレット >>
- 注意喚起ちらし >>
- 注意喚起リンク集 >>
- ミニポスター(一部動画付) >>
- 身・守りハンドブック >>
- 教育DVDハンドブック >>
- 生活安全ジャーナル >>
- 製品安全情報マガジン(PSマガジン) >>
- What's New >>
- プレスリリース >>
- 特記ニュース >>
- 最新事故情報 >>
- 事故情報の検索 >>
- 社告・リコール情報 >>
- 社告・リコールの検索 >>
- 報告書 >>
- リンク集 >>
- 立入検査 >>
- 事故情報収集制度について(制度の体系図) >>
- 製品事故情報の収集へのご協力をお願いします！(nite事故情報収集制度様式) >>
- 原因究明機関ネットワーク総覧 >>
- 製品安全講座 >>
- 製品安全ガイド(経済産業省) >>

リコールなど注意を呼びかけています(24)

こんな事故にもご用心(24)

リコールなど注意を呼びかけています。製品 事故のりんく集

こんな事故にもご用心

(621KB) 2011.08.09 NEW

(898KB) 2011.07.26


リコールなど注意を呼びかけています(23)

こんな事故にもご用心(23)

リコールなど注意を呼びかけています(22)

ミニポスターと再現実験映像

注意喚起ポスター（pdf型式）と再現実験動画は無償でダウンロードできます。

 動画をクリックすると再現実験動画がご覧いただけます。

<http://www.nite.go.jp/jiko/poster/poster.html>

ミニポスター（一部動画付）

このページで公開されているミニポスター（及び再現実験映像）は、製品評価技術基盤機構（NITE）で収集した事故情報を基に作成しています。

ポスターカテゴリー一覧

 家庭用電気製品
  燃焼器具
  その他

家庭用電気製品ポスターリスト ▲カテゴリー一覧へ

▶ 1-1 扇風機1	▶ 1-2 テレビ	▶ 1-3 温水洗浄便座	▶ 1-4 ヘヤドライヤー
▶ 1-5 電源プラグ	▶ 1-6 水槽用ヒーター	▶ 1-7 テーブルタップ	▶ 1-8 電気こころ

1-1 扇風機1

扇風機からの出火

事故の概要
【事故例】2歳の幼児が扇風機を操作中に扇風機から出火して、顔と腕に火傷を負った。扇風機は止まらなかった。ファンガードが一部損壊し、扇風機が倒れた。

事故の原因
【原因】扇風機の電源コードがコンセントから抜かれ、電源コードがコンセントの裏面に接触し、火花を飛ばして扇風機の内部に落ちた。

事故の防止のために
▶ 電源コードをコンセントからしっかりと抜く。
▶ 扇風機の電源コードがコンセントの裏面に接触しないように注意する。
▶ 扇風機の電源コードがコンセントの裏面に接触しないように注意する。

 動画

(PDF型式 27KB)

1-2 テレビ(ブラウン管型)

テレビ(ブラウン管型)からの出火

事故の概要
テレビ(ブラウン管型)から出火して、本体を燃焼。テレビは天井の一角および床の隙間に落ちた。

事故の原因
長時間視聴(約20時間以上)により、ブラウン管が破裂し、火花を飛ばして電源コード、付帯の部品に火花が飛ばし、燃焼した。

事故の防止のために
▶ 長時間視聴を避け、視聴時間を短くする。
▶ 長時間視聴する場合は、電源コードをコンセントから抜く。
▶ 長時間視聴する場合は、テレビの電源を切る。
▶ 長時間視聴する場合は、テレビの電源を切る。

 動画

(PDF型式 28KB)

1-3 温水洗浄便座

温水洗浄便座の発火事故

事故の概要
温水洗浄便座から煙が出て、便座部分が燃焼した。便座から電源コードが落ち、電源コードがコンセントの裏面に接触し、火花を飛ばして扇風機の内部に落ちた。

事故の原因
電源コードが電源コードの保護カバーから抜け、電源コードがコンセントの裏面に接触し、火花を飛ばして扇風機の内部に落ちた。

事故の防止のために
▶ 電源コードが電源コードの保護カバーから抜け、電源コードがコンセントの裏面に接触しないように注意する。
▶ 電源コードが電源コードの保護カバーから抜け、電源コードがコンセントの裏面に接触しないように注意する。

 動画

(PDF型式 29KB)

1-4 ヘヤドライヤー

ヘヤドライヤーからの出火

事故の概要
ヘヤドライヤーの電源コードがコンセントから抜け、電源コードがコンセントの裏面に接触し、火花を飛ばして扇風機の内部に落ちた。

事故の原因
電源コードが電源コードの保護カバーから抜け、電源コードがコンセントの裏面に接触し、火花を飛ばして扇風機の内部に落ちた。

事故の防止のために
▶ 電源コードが電源コードの保護カバーから抜け、電源コードがコンセントの裏面に接触しないように注意する。
▶ 電源コードが電源コードの保護カバーから抜け、電源コードがコンセントの裏面に接触しないように注意する。

 動画

(PDF型式 21KB)

扇風機の発火映像

28

製品事故の防止について記者説明会

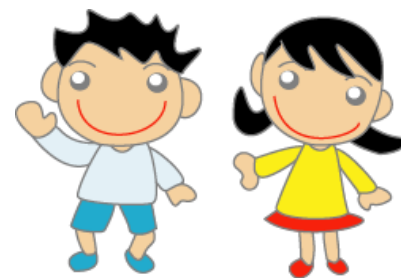
製品事故に遭わないために製品事故の防止について報道機関への説明会を毎月開催しています。これに併せて支所ごとに地方新聞社に説明資料と地域ごとの事故の概要も提供しています。また、消費生活センター等の消費者展での事故品展示、ポスター展示も行っています。

H23年

- 1月 着衣着火事故の防止について(注意喚起)
- 2月 電源コード及び配線器具の誤った取り扱いによる事故の防止について(注意喚起)
- 4月 災害復旧時の製品事故の防止について(注意喚起)
- 5月 扇風機による火災事故の防止について(注意喚起)
- 6月 エアコンによる事故の防止について(注意喚起)
- 7月 カセットこんろによる事故の防止について(注意喚起)
- 8月 IHこんろによる事故の防止について(注意喚起)

事故 ナイト いいね

<http://www.jiko.nite.go.jp/>



独立行政法人製品評価技術基盤機構

北関東支所

電話 0277-22-5471 FAX 0277-43-5063